

2015.8.31

～北の里浜 花のかけはしネットワーク～

石狩中学校の生徒が被災地を訪ねました



関上海岸に石狩で育てた苗を植栽（7月26日）

宮城県にある名取関上海岸は、4年前の東日本大震災により壊滅的な被害を受けました。震災後、防潮堤などの大規模工事のために海浜植物が危機に瀕していると聞きつけ、北海道で里親ならぬ「里浜」を引き受けようと立ち上がったのが札幌の市民グループ「北の里浜 花のかけはしネットワーク」（鈴木玲代表）です。

石狩中学校では昨年春から技術の授業で、被災地の海岸で集めた種（ハマニガナ、ハマヒルガオ、ウンラン、ケカモノハシ、コウボウムギ等）を苗に育ててきました。この3年生の生徒4人がこの夏、7月25日から26日にかけて名取市を訪問し、地域の市民グループや地元の中学生などと一緒に6種類約300株の海浜植物を植えました。

被災地を訪れるのが初めてだった石狩中学校の生徒は、慣れない暑さの中で、語り部による震災の話を聞いたり、仮設住宅を訪問し花壇整備を手伝ったりと充実した2日間を過ごしました。今年の2年生が育てた新たな苗は、活動に協力いただいている雪印種苗株式会社と石狩浜海浜植物保護センターで来年の移植を待つことになります。海浜植物を通じて、被災地との交流と環境保全の取り組みが広がるといいですね。



来年に向けて種まきをする石狩中学校の2年生（5月22日）



名取第一中学校の生徒と交流（7月25日）



被災した関上中学校を見学（7月25日）



来年の植栽に向けて石狩浜海浜植物保護センターで育苗中（8月17日）

海辺フォーラム2015 in 浜松に参加してきました！

日本中で急速に失われている海辺の自然の大切さを全国に発信しようと、「海辺フォーラム」が浜松で開催されました。

今回のフォーラムの参加者は、いしかり海辺ファンクラブ、名取ハマボウフウの会（宮城）、NPO法人ゆい（神奈川）、伊予農業高校（愛媛）、サンクチュアリエヌピーオー（静岡）と当センターの6団体。基調講演には、東京農業大学の雨木教授からハマボウフウの取り組みについて報告がありました。

このフォーラムは、前身の「ハマボウフウネットワーク交流会」から換算して14年目。ハマボウフウは護岸工事や乱獲により全国的に激減しています。全国の海辺の環境保全に関わる団体が一堂に会し、情報交換することで、お互いの活動の発展に新たなヒントを得ることができました。



海浜回復事業「一人一袋運動」を体験



アカウミガメの子ガメ放流の様子

新企画のはまなすカフェも大好評！多くの人出で賑わう！

第3回はまなすフェスティバルが開催されました



第3回はまなすフェスティバルが6月20日に開催され、昨年を大きく上回る来場者で賑わいました。開場前にはオープンを待ちわびるお客さまが玄関前を埋め、開場と同時に、ハマナスポストカード配布、ハマナスジャムの試食、ハマナスティーの試飲、フローラルウォーターの蒸留実演などのブースが人で埋まりました。また、頒布を行ったはまなす草木染め、ブローチなどのクラフト品、ハマナスデザインの手作り品などもほぼ完売。藤女子大の学生さんによる、はまなす花びらを使った樹脂キーホルダー制作体験も大好評でした。

会場の奥の「はまなすポップリ・はまなすの葉っぱしおり」「紋切りで作るハマナスの大きな絵」の制作体験コーナーでは、お子さんのみならず、大人の方も目を輝かせて手を動かしていました。また、はまなすセミナーの展示にも強い関心を寄せられる方もおり、はまなすの魅力の奥深さを実感しました。

一方、実験室を会場に午前と午後の2回開催された「みーやん先生のデコ巻き教室」では、定員一杯の参加者が、太巻きの切り口に見事なハマナスの花を咲かせて、歓声をあげていました。

屋外の観察園では「はまなすクイズラリー」の参加者が終日途絶えず6問のクイズに挑戦して記念品を手にしていました。

今回初となる、はまなす食材にこだわった「はまなすカフェ」では、4つのブースではまなす関連メニューを提供。はまなすの味の世界を楽しんでいただきました。カフェに隣接したライブスペースでは「かねあいファミリーバンド」が、昨年のはまなすフェスティバルでインスピレーションを得たという新曲「ハマナスの約束」ははじめ5曲を披露。大きな声援を受けていました。こうして「はまなすフェスティバル」は成功裡に幕を閉じました。



クラフトコーナー



はまなす香り体験



はまなすクイズラリー



はまなすカフェの様子

海辺パトロールウォークに北大学生さんが参加

前号の「石狩浜の環境保護の歩みを振り返る」記事でも紹介しましたが、石狩市は市民ボランティア団体「いしかり海辺ファンクラブ」と協働で、砂丘上の車両規制エリアの見回り活動、「海辺パトロールウォーク」を毎月行っています。8月の活動では北海道大学環境科学院の学生さん4名が参加され、大活躍をしてくださいました。

この学生さんらは、石狩浜の環境保全についての対応策を学生の視点で考え、7月に市役所会議室でプレゼンテーションをして新聞にも取り上げられた学生さんたちです。今回は石狩浜の実態をより深く理解しようとの考えでパトロールに参加されましたが、今後も石狩浜の保全について考えていきたいと語っていました。



車両侵入危険箇所に流木を運びバリケードを設置

冷凍庫を寄贈いただきました
ハマナス再生プロジェクトに協賛いただいている「お茶の土倉」さまより、このほど冷凍庫の寄贈をいただきました。ハマナス花びらや実の保存に役立てて参ります。

今年も多く親子連れにご参加いただきました！

体験して、観察して。夏休み自然教室が開催されました



ハマナスで草木染め（8/6）



夏休み自然体験教室（7/25・26、8/1・2）

今年のミニ自然教室は「クラフト」「葉っぱでスタンプ」「しおり」の3つのコーナーと、恒例の観察園クイズラリーを実施。「石狩浜自然案内人」の8人のボランティアが、夏休み中の親子など延べ93人をガイドしました。石狩市外か

らの参加者が多く、道外から観光に訪れた親子もいました。ハマナスで草木染教室では、8組の参加者がハマナスの根と葉を使った草木染に挑戦。ハンカチに絵を描いたり、ストールに模様を入れたり、でき上がりに歓声があがっていました。

★秋！保護センターでふしぎ発見！～クルミはどこから来る？

保護センターのクラフトコーナーは、石狩浜で拾える素材を集めています。その中にクルミの実があります。クルミというと、森にあって、リスやノネズミの大好物、というイメージですね。ところが浜辺にもクルミの実がたくさんあるのです。砂浜にクルミの木はないのに、なぜ？

ヒントは、「水に浮く」というクルミの実の性質と「石狩川の河口」という川との位置関係。

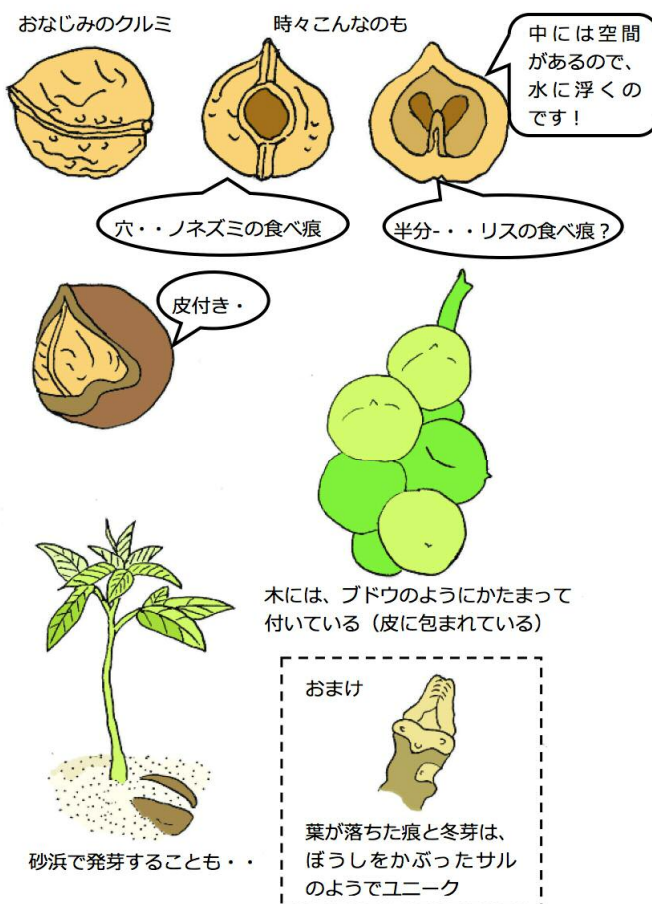
そう、石狩浜には、石狩川上流の森から川へ落ち、流れてくるクルミの実が、最後に波に打ち寄せられてたどりつくのです。中には海流に乗って遠い道南や本州からくるものもあるかもしれません。

砂浜に流れついたクルミの実は、どうなるのでしょうか？適度に砂に埋まった状態のものは、春に芽を出します。しかし、過酷な砂浜環境の下では、育つことができず、ほとんどが数年以内に枯れてしまいます。



観察園の湿生植物ゾーンのクルミ（2015.8.26撮影）

秋になると大量に流れ着くクルミの実、クリスマスリース作りの材料などにも使えますので、秋晴れの石狩浜を歩いて、集めてみるのも楽しいですよ。



★石狩浜に流れつくクルミのほとんどは「オニグルミ」という種類です。

海浜植物保護センターでは、数年前に砂浜で芽を出しているクルミを根からそっと掘り上げ、観察園内の風のあまり当たらない、湿生植物ゾーンの片隅に移植しました。本来の生育地の森林内に比べ砂地は貧栄養で、なかなか成長しませんが、根はしっかり下ろしています。観察したい方は職員に声をかけてくださいね。

（文・イラスト／内藤華子）

とことん秋のハマナスをたのしみます！
はまなす広場
ハマナスの実でジャムをつくらう
ハマナスを味わおう
ハマナスを植えよう
ハマナス再生園づくりをしよう

日時 **9月26日(土)** 10:00~15:00
会場 **石狩浜海浜植物保護センター**
(石狩市弁天町48-1)

入場無料

展示ブース
●ハマナスティーの試飲
●ハマナススチーマーの試飲
●ハマナスバスカード
●ハマナスの歴史
●ハマナスの栽培
●ハマナスの活用
●ハマナスの香り
●ハマナスの味
●ハマナスの触り
●ハマナスの香り
●ハマナスの味
●ハマナスの触り

クラフトコーナー
●ハマナスバスカード
●ハマナスの歴史
●ハマナスの栽培
●ハマナスの活用
●ハマナスの香り
●ハマナスの味
●ハマナスの触り

はまなすサマーフェスティバル実行委員会
(申込・問合せ: 石狩浜海浜植物保護センター 0133-60-6107(大塚 伸子))
Eメール: hama@city.ishikari.hokkaido.jp

9月26日(土) 10:00~15:00
第3回はまなす広場
とことん秋のハマナスを楽しみます
開催場所: 石狩浜海浜植物保護センター
内容: クラフト体験、クイズラリー、ハマナスティー試飲、ジャム試食、香り体験、ポストカード配布、他
【はまなすジャム作り体験講座】
①11時~12時②13時~14時
持ち物: エプロン、三角巾
定員: ①②ともに10名(申込み順)
参加費: 300円/中学生以下100円
締切: 9月18日(金)
申込・問合せ: 石狩浜海浜植物保護センター

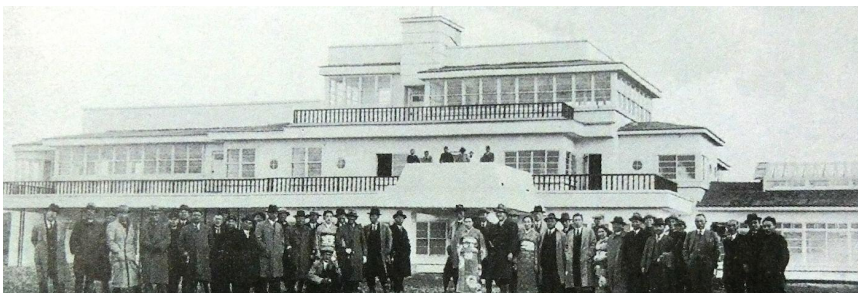
10月3日(土) 16:00~17:30
トークイベント ウミベオロジー 石狩海浜学2015
海辺の知られざる不思議を研究者たちが語ります。今回は太古の海辺にタイムトラベル! 話題提供は札幌市博物館活動センター学芸員、古沢仁さん(古脊椎動物学)ほか。
開催場所: 紀伊國屋書店札幌本店1階 インナーガーデン(札幌市中央区北5西5)
参加費無料、申込み不要(直接会場へ)
問合せ: いしかり砂丘の風資料館
TEL: 0133-62-3711

参加無料
10/10(土) 13:30~15:30
花川南コミュニティセンター
(石狩市花川南6-5)
はまなすセミナー ハマナス香水ものがたり
ハマナス香水の驚きの歴史と香りの効用について学びます。ハマナスティーの試飲もあります。
開催場所: 花川南コミュニティセンター(石狩市花川南6-5)
講師: 伊藤由起子氏(フリーライター)
尾形優子氏(日本メディカルハーブ協会)
定員: 100名(申込み順)
参加費: 無料
締切: 10月9日(金)
申込・問合せ: 石狩浜海浜植物保護センター
主催: はまなすフェスティバル実行委員会

10月10日(土) 13:30~15:30
はまなすセミナー
石狩ハマナス香水ものがたり
ハマナス香水の驚きの歴史と香りの効用について学びます。ハマナスティーの試飲もあります。
開催場所: 花川南コミュニティセンター(石狩市花川南6-5)
講師: 伊藤由起子氏(フリーライター)
尾形優子氏(日本メディカルハーブ協会)
定員: 100名(申込み順)
参加費: 無料
締切: 10月9日(金)
申込・問合せ: 石狩浜海浜植物保護センター
主催: はまなすフェスティバル実行委員会

10月24日(土) 10:00~12:00
(ボランティア募集) はまなすの丘景観保全作業
はまなすの丘周辺の外来種などの除去作業やゴミ拾いを行います。
※屋外作業ですので、帽子、軍手などを着用し、動きやすい服装でご参加ください。
集合場所: はまなすの丘公園
ビジターセンター駐車場
集合時間: 9:50
参加いただける方は、人数把握の為、10月22日(木)までに石狩浜海浜植物保護センターにご連絡ください。

10月26日(月) 13:30~15:00
第4回いしかり海辺カルチャートーク 石狩浜の自然を撮り続ける
石狩浜の自然を長きに渡って撮り続けるお二人が撮影のポイントや秘話を語ります。
講師: 鎌田宣夫さん、田辺英世さん
(石狩浜定期観察の会 写真撮影担当)
開催場所: カフェマウニの丘
(石狩市弁天町番外地)
対象: 一般、小学生以下保護者同伴
参加費: 500円(飲み物、ケーキ付き)
定員: 30名/締切: 10月24日(金)
主催: いしかり海辺ファンクラブ

なるほど歴史写真館

(海浜ホテル「石狩市21世紀に伝える写真集」より)
昭和10年、保護センター裏の砂丘の前に「海浜ホテル」が着工されました。田上義也の設計によるこの建物は、ホテルとして営業されないまま、昭和14年に陸軍に献納され、昭和20年の石狩空襲の際の爆撃で焼失してしまいました。

発行・問合せ・申し込み

編集: いしかり海辺ファンクラブ

石狩浜海浜植物保護センター(開館期間 4/29~11/3、開館時間 9:00~17:00) 毎火曜定休(祝日の場合翌日休)
〒061-3372 石狩市弁天町48-1 tel:0133-60-6107(休館日は以下へ)
石狩市役所環境市民部 環境保全課 自然保護担当
〒061-3292 石狩市花川北6-1-30-2 tel:0133-72-3269
E-mail: ihama@city.ishikari.hokkaido.jp
HP <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/site/kaihinsyokubutu/index.html>